

福井移住400年記念

# 岩佐 又兵衛展

この夏、謎の天才絵師、福井に帰る

平成28年 7 / 22 [金] ▼ 8 / 28 [日]

〔休館日〕8月1日(月)、8日(月)、17日(水)、22日(月)

〔開館時間〕午前9時から午後5時(入館は閉館30分前まで)

※7月22日(金)のみ午前11時開館。

〔観覧料〕一般1200円、大高生800円、中小生500円

※20名以上の団体は2割引。

※学生の方は学生証の提示が必要です。

※障害者手帳等をお持ちの方とその介助者1名半額。

福井県立美術館

福井市文京3-16-1  
TEL: 0776-25-0452 FAX: 0776-25-0459



重文「豊国祭礼図屏風」(左隻) 徳川美術館【7/22~8/7】



国宝「洛中洛外図屏風(舟木本)」(右隻) 東京国立博物館【8/6~8/28】



「花見遊楽図屏風」(部分)

## うきよを描くー「浮世又兵衛」見参

見所 ③

「浮世又兵衛」とよばれ、のちに浮世絵の祖と崇められた又兵衛。人々の生活を活写した彼の風俗画は、見る人を飽きさせません。移住直前の京都を描く国宝「洛中洛外図屏風(舟木本)」、祭りの狂乱ぶりを描き尽した重文「豊国祭礼図屏風」、そして福井で32年ぶりの公開「花見遊楽図屏風」。又兵衛風俗画の傑作が一堂に集います。(※3作同時展示は8/6・7のみ)

※福井県立恐竜博物館開催の特別展「恐竜の大移動展」(7/8~10/10)および、福井県立歴史博物館開催の特別展「ふくい婚の婚礼」(7/22~8/31)の観覧チケット提示で、本展「岩佐又兵衛展」の観覧料が2割引となります(その逆も同様、ただし恐竜博物館は団体料金に割引)。※会場には子ども向けワークシートもあります!



◎同時開催「福井の彫刻・立体VOL.2」\*本展観覧券にてご覧いただけます。

### 交通のご案内

- 福井鉄道・えちぜん鉄道/「田原町駅」下車徒歩約8分
- コミュニティバスすまいる(100円)/JR福井駅西口(6番のりば)より、(北)田原町・文京方面線「県立美術館前」下車。
- 京福バス/JR福井駅西口(2番のりば)より、福井総合病院線(23・26系統)「藤島高校前」下車。※日曜・祝日は運休
- 車・タクシー/JR福井駅より約8分、北陸自動車道福井北ICより約15分。

### 福井県立美術館

〒910-0017 福井市文京3-16-1 TEL:0776-25-0452 FAX:0776-25-0459  
<http://info.pref.fukui.jp/bunka/bijutukan/bunka1.html>



# 又兵衛展

この夏、謎の天才絵師、福井に帰る

会期中  
展示替えが  
あります

福井移住400年記念

戦国武将荒木村重の子でありながら絵師として生き、桃山時代末から江戸時代の初めに活躍した一人の人物がいました。その名は岩佐又兵衛(1578~1650)。「浮世又兵衛」の異名を持ち、鋭い観察眼と超絶テクニックで人物画にすぐれた作品を残しました。

又兵衛は京都・福井・江戸で活動しましたが、そのうち39歳から60歳までの福井時代は、多くの傑作が描かれた極めて重要な時代です。しかしなぜ福井に?どのような日々を送ったのか?作品の素晴らしさとは裏腹に、その活動は謎に満ちています。

今年には又兵衛が、京都から福井に移住して400年になります。これを記念して開催する本展では、福井時代の代表作を中心とする全40件(うち国宝1件・重要文化財9件)を展示します。近世絵画に大きな足跡を残し、「奇想の絵師」としても知られる、又兵衛の魅力あふれる世界をお楽しみください。

名作揃い踏み。  
いざ福井へ!

## 【関連イベント】

- 記念講演会  
8月21日(日) 午後1時30分から(参加無料、講堂にて)  
講師/佐藤康宏氏(東京大学教授)  
演題/「だれも描かなかったものを彼は描いた-岩佐又兵衛の絵画」
- 記念座談会 「もっと知りたい!岩佐又兵衛」  
8月7日(日) 午後1時から(参加無料、講堂にて)  
(出席者)・深谷 大氏(早稲田大学演劇博物館招聘研究員)  
・畠山浩一氏(東北大学専門研究員)・筒井忠仁氏(文化庁文部科学技官)  
・廣海伸彦氏(出光美術館学芸員)・戸田浩之(当館主任学芸員)
- 学芸員によるギャラリートーク  
7月31日(日)、8月13日(土)、14日(日) 各午前11時から  
(要観覧券、会場にて)
- キッズミュージアム  
ミニ版 「花見遊楽図屏風」を作ろう!  
7月30日(土) 午前の部:午前10時から 午後の部:午後2時から  
(参加無料、エントランスホールにて)※各回先着25名まで  
講師/内藤秀信(ペーパークラフトモデラー、ごじら工房主宰)

## 特別企画

岩佐又兵衛が描かれる唯一の漫画『へうげもの』生原画展  
協力・山田芳裕&講談社モーニング編集部



©山田芳裕/講談社

桃山文化を牽引した武将茶人・古田織部が主人公の超大河漫画『へうげもの』(山田芳裕/講談社「モーニング」連載中)。同時代の美の巨人・本阿弥光悦、俵屋宗達らと並び、主要キャラクターとして登場する岩佐又兵衛。生き生きと描かれる人物像とその活躍が、漫画でもご覧いただけます。

## 見所①

### 流転の名画奇跡の再会

福井の豪商金屋家に秘蔵された12図からなる屏風絵。明治末に分散し、コレクターの間を転々としてきました。今回100年の時を経て、現存10図が初の再会です。龍虎と和漢の人物が織りなす、妖しくも美しい「又兵衛ワールド」全開の超大作! (※10図同時展示は8/26~8/28のみ)



「雲龍図」  
東京国立博物館【通期】



重文「官女観菊図」  
山種美術館【8/26~8/28】



重美「羅浮仙図」【通期】



重文「弄玉仙図」  
摘水軒記念文化振興財団【通期】



重文「伊勢物語 梓弓図」  
文化庁【通期】



重美「伊勢物語 鳥の子図」  
東京国立博物館【通期】



「老子出関図」  
東京国立博物館【通期】



重美「龐居士図」  
福井県立美術館【通期】



重美「源氏物語 野々宮図」  
出光美術館【8/13~8/28】



「虎図」  
東京国立博物館【通期】

## 見所②

### 絢爛豪華一華麗なる絵巻の世界

意外や意外? 絵巻にも優れた才能を発揮した又兵衛。現存数57巻、総延長はなんと800メートル以上! 「山中常盤物語絵巻」や「上瑠璃物語絵巻」など名作が揃います。近世随一の絵巻絵師又兵衛の、華麗な色彩と躍動感あふれる画面に注目です。



重文「山中常盤物語絵巻」第4巻(部分) MOA美術館【通期】



重文「上瑠璃物語絵巻」第4巻(部分) MOA美術館【通期】

